



NEWSLETTER

SEP. 2019 VOL. 17

## English Spectator or English Communicator? Eric Des Marais



I am not really interested in sports very much, but a couple of my friends love baseball. One is a spectator and one is more of a player.

One friend watches baseball all the time. He knows everything about it -- the history of the sport, all the player statistics, and even the tiniest of rules. He loves being a spectator. In fact, I don't think he has ever played before.

My other friend loves to play baseball, and has ever since elementary school. He still plays on a team and also goes to the batting cage at least once a week to practice his swing. He is an athlete and a player.

English is the similar. Some people like learning about tenses and root words or clauses and collocations. Other people want to write essays in English or practice talking so that can make international business relationships. There are lots of different ways to enjoy foreign languages. You can study about a language, or you can practice a language. Which is better for you?

## 日本語の中に外国語を見る デザイン工学科 准教授 河合 大介

昨年、『英単語の語源図鑑』（清水建二、すずきひろし著、かんき出版、2018）という本が出版された。この本は、英語学習者が英単語を覚える際に、その語源を理解することによって語彙を増やすことができるという発想にもとづいて書かれたものである。すなわち、英単語の語源や語の構成要素（接頭辞、語幹、接尾辞など）から、隣接する単語群をまとめて覚えてしまおうというのである。例として、attractionという語は、「～の方へ」を表す接頭辞“ad”の異型である“at”、「引く」を意味する“tract”、名詞化する“ion”から構成されており、「引きつけるもの」、すなわち「魅力」といった意味を持つと説明されている。



日本語も、複数の漢字によって一つの意味を持つ単語が構成されている点で似ているところがある。実際、現代の私たちが使っている単語には、外国語の単語の構成と類比的に理解できるものも多くある。例えば「表現」と訳されている英語の“expression”は、「～から（外へ）」を意味する接頭辞“ex”と、「押す」を意味する“press”からなる。ドイツ語の場合でも、語の構成要素は同様で、「表現」にあたる“Ausdruck”は「外へ」を意味する“aus”と「押す」を意味する“drücken”からなる。もちろん、「表現」と「外に押し出す」とは字面上では一致しないが、意味上では、「外に押し出す」＝「表に現す」と理解できる。

こういった構造上の対応関係は、明治期に翻訳語として造語された際に必ずしも厳密に行われていたものではない（実際、明治初期に学術的な造語を含む訳語を集大成した1884年の『改定増補 哲学字彙』では、“Presentation”に「表現力」が、“Expression”には、「文辞、語法、表出、面色」が当てられている）。とはいえ、外国語の単語の意味を理解する際に、このような類比関係を見出すことは、外国語学習の一助となるだろう。

# 香港・台湾

## スタディーツアーに参加して

栄養学科 小池 遙 羽原 采音

香港には、日本で見られないような高いビルや、二階建ての乗り物があり、海外の雰囲気がよく感じられました。ローカル市場では、至る所で豚が裁かれていることに驚きました。またスーパーでは日本の物がたくさん売られていることに驚きました。海外でも日本製品の品質の良さが認められているのだと知り、嬉しく感じました。

香港にある、中国銀行香港支店を訪問し、勤めていらっしゃる方からお話を伺う機会もありました。中でも印象に残っているのは、香港では、女性が社会の慣習に縛られずに、自由に仕事や家庭のことについて選択できるというお話です。日本では家事は妻がするものだという考え方が根深いですが、香港には夫婦が共働きの家庭も多く、夫婦と一緒に家事をするのが一般的だそうです。将来は家庭を持ちながら仕事をしたいと考えているため、海外で働くことが魅力的に感じました。海外で働くことは決して特別なことではなく、気持ちがあれば誰でも達成できるという前向きなお言葉も頂きました。



夜市(左)  
中国銀行香港支店訪問(右)

台湾の台北には、日本人観光客や日本語を話せる人が多く、外国にいるような感覚はあまりありませんでした。タピオカミルクティーが日本で流行っていますが、本場である台湾では、ミルクティーだけでなく様々なジュースにタピオカを入れて飲んで驚きました。台湾では夜市が定期的に行われていて、陽気な国民性を感じることができました。

台湾では、現地の家庭にホームステイもしました。日本人が北枕を嫌うことを事前に調べていたのか、枕の向きを気にしてくれました。日本の文化に寄り添って接してくれたことがとても嬉しかったです。英語で説明するのが難しい時にはGoogle翻訳などを使って一生懸命伝えようとしてくれたり、日本では見られない果物を教えてくれたりもしました。以前から台湾には親日家が多いと聞いていましたが、本当は明らかに優しいホストファミリーでした。



中正紀念堂(上)  
ホームステイ先にて(下)



九份(右)  
香港の大学の学生と一緒に(左)



香港と台湾でそれぞれ2つの大学を訪問しましたが、どちらの国の学生も、とても勉強熱心で、学ぶことが多くありました。特に印象に残っているのは、留学をしたり様々な言語を学んだりして、世界的な視野を身に付けようとしている学生が多いことです。世界に目を向けることで、勉強する目的や将来の目標が明確になるのだと感じました。また外国語を学ぶ上で、相手のことを知ろうという姿勢や相手に伝えるという姿勢も大切にしていきたいと思いました。

# 女子旅! ~ウズベキスタン~



総合情報推進センター 北川 ななせ

私の趣味は海外旅行で、これまでアジアを中心に20か国以上の国を訪れました。昨年の9月には、長期休暇を利用してウズベキスタンへ行ってきました。ウズベキスタンは、シルクロードの中心地として発展した、中央アジアにある国です。人口は約3,240万人で、面積は日本の1.2倍です。日本との時差は4時間あります。



岡山空港から韓国の仁川空港へ行き、仁川空港で乗り換えて、ウズベキスタンの首都・タシュケントに向かいました。仁川空港からタシュケント国際空港までは直行便で約7時間です。タシュケントからは鉄道・夜行列車・タクシー・バスを乗り継いで、サマルカンドとヒヴァという都市に向かいました。

公用語はウズベク語とロシア語で、英語はほぼ通じませんでした。“station”や“train”も通じず、始めは困りましたが、その分ウズベク人の優しさにとっても助けられました。バス乗り場を探していた時には、「自分は英語が分からないから」と言いながらも、英語の話せる友人に電話で通訳をお願いしてまでバス乗り場を教えてくださいました。また駅の場所が分からない時には、バスを乗り継いで目的の駅まで実際に連れて行ってくれました。こちらが申し訳なく思う程、本当に皆さん親切でした。旅先での人との出会いが、何よりの思い出です。



首都にあるタシュケント駅からヒヴァの最寄りウルゲンチ駅までは夜行列車で片道15時間。日が昇ってからは同じ部屋のおばあちゃんとティータイムをして過ごしました。車窓からは砂漠や農地・小さな町など様々な風景が見えます。

なんと、空港で仲良くなったウズベク人が、2度もお宅に招いてくれました! 山盛りのフルーツやナン、お手製のウズベク料理を振る舞ってくれました。



サマルカンドのシンボルであるレジスタン広場と、シャーヒズィンダ廟群

「青の都」「イスラム世界の宝石」「東方の真珠」などと称されるサマルカンド。建物を飾るタイルは「サマルカンドブルー」と呼ばれる鮮やかな青色で、細部までとても美しかったです。



英語で

自分の

可能性を

広げよう!

私は現在TOEICで725点のスコアを持っています。このスコアのおかげで、就活を有利に進めることができ、第一志望のグローバル企業から無事内定を頂くことができました。

しかし、私は元々英語が苦手でした。学部2年生で初めて受験したTOEICの結果は355点。あまり人に公表できるような点数ではありません。英語には極力関わらないようにして卒業しようと思っていました。

ところが、英語を避けていては就活ができません。私は学部4年生の時に就活を経験しましたが、ほぼ全ての企業で、エントリーシートにTOEICの点数を記載しなければいけません。また、TOEICの点数が基準点に達していなければ受験さえできない企業もありました。面接でも英語について聞かれることが多く、英語は勉強しておいたほうが有利だと感じました。英語ができれば仕事の幅も広がることを、身をもって痛感しました。

それからというもの、私は語学教育推進室を利用して、英語の勉強を始めました。語学教育推進室ではTOEICの模試や教材を借りることもでき、とても効率的に勉強できました。TAの方もアドバイスをくださり、1カ月でTOEICのスコアは劇的に上がりました。

海外旅行に行った際、英語が上手く話せなかったため、英会話を上達させたいと思いました。再び語学教育推進室のTAの方に相談したところ、英語のネイティブの先生と話す機会を設けてくださいました。今も実用的な英語に触れられているのおかげで、私の英語力は飛躍的に向上していると感じます。最近ではTOEIC対策の勉強をせずに受験しても700点前後のスコアをとることができるようになりました。皆さんも語学教育推進室を活用し、英語力を高めて、自分の可能性を広げてみてください。

## 語学教育推進室からのお知らせ



### スピーカーズコーナー開催！ 11/2(土)9:30～ @8903講義室 入場無料

今年も11月の学祭で「スピーカーズコーナー」を行います。たくさんの写真と説得力のあるプレゼンを是非ご覧ください！皆さんのお越しをお待ちしています！！



### 多読を楽しんでいますか？

挿絵が多く、単語数が少なめのやさしい本を選んで読みましょう！無理をしないことが大切！！頭の中で日本語に訳すのではなく、イメージでつかむ感覚を身につけよう。学習ログの多読記録ページが足りなくなったら、ページを追加して続けてくださいね。



### TOEIC L&R IPテスト

2年生は12月14日に全員受験します。申込み用紙は期日までに提出しましょう！

それとは別に2月中旬に学内で実施予定です。希望者は語学教育推進室へ申込みに来てください。



### 返却日を過ぎている本はありませんか？

多読本の返却期日を守りましょう！  
返却期限が過ぎている人の名前を掲示しています。



### コルクボードで情報交換しよう！

語学教育推進室に写真を貼るコルクボードを設置しました。夏季休暇中に海外へ行ってきたという人、ぜひ写真提供をお願いします！お土産話も聞かせてくださいね！



### 編集後記

編集メンバー3名が新たに加わり、今回もWell+を素敵に仕上げてくださいました。  
今号では語学にまつわる様々な体験を特集しました。このような体験ができるのも語学を学ぶ魅力ですね！記事を読み、その魅力を感じてもらえれば嬉しいです。

Well+(ウェル)：語学教育推進室 ニュースレター第17号

発行日：2019年9月24日

発行者：語学教育推進室

編集 川崎陽香 池内理葵 小河原佳織 満上千加

校正 井上真実

(以上学生スタッフ)

発行所：岡山県立大学 語学教育推進室

〒719-1197 岡山県総社市窪木111

TEL:0866-94-2005

E-Mail:gogaku@ad.oka-pu.ac.jp